

西播磨地域夢会議の概要

日 時：平成22年8月7日（土）13:30～16:30
場 所：太子町立文化会館 あすかホール
参加人数：約130名
主 催：西播磨地域ビジョン委員会・西播磨県民局

1. 開催趣旨

21世紀初頭の西播磨づくりをめざし、地域住民、団体などが共有できる将来像を描き、その実現に向けた住民と行政の行動指針として「西播磨地域ビジョン」を策定してから9年が経過しました。これまでビジョンの実現に向けたさまざまな取り組みが行われ、新たな課題も見えてきました。

県では、人口減少、少子・高齢化が進む中で、現行の地域ビジョンの見直しを行い、改訂版の地域ビジョンを策定することにしており、このたび中間案をとりまとめました。この中間案をもとに、幅広い年齢層の方々により西播磨地域の夢・将来像を語り合う「西播磨地域夢会議」を開催しました。



2. テーマ

「西播磨“夢”バトル」 ～高校生とともに西播磨の夢を語ろう～

3. プログラム

(1) 【第1部】プレゼンテーション

改訂版「西播磨地域ビジョン」中間案について

西播磨地域ビジョン委員会 委員長 山本 建志

(2) 【第2部】ワークショップ（テーマ別討論）

- ・『ふれあいを大切に豊かな人間関係をつくろう』（人の輪社会）
- ・『住みなれた地域で支え合ってともに生きよう』（安心安全社会）
- ・『人と自然が共生する美しい西播磨をめざそう』（環境王国）
- ・『にぎわいと交流の元気な地域をつくろう』（きらきら西播磨）

(3) 交流会（休憩）

(4) 【第3部】全体討論

- ・高校生による結果発表
- ・参加者全員による意見交換
- ・専門委員によるコメント



4.【第1部】プレゼンテーション(要旨)

西播磨地域ビジョンについて、これまでのビジョンの実現に向けた活動の取組状況や、人口減少、少子・高齢化などの時代潮流の変化を踏まえ、地域の将来像を点検・見直すことにより、改訂版「西播磨地域ビジョン」として県民の取組方策をまとめる。

改訂版「西播磨地域ビジョン」の中間案の概要と、中間案が提示されるまでの経緯を説明。

< 中間案の主なポイント >

(1) ビジョンの実現に向けた活動等のふりかえり

ビジョン策定以降の地域の変化、地域の特徴的な動きを記述

- ・西播磨地域の変化、西播磨地域の出来事、2040年の展望

地域像の達成状況、評価を記述

- ・地域像の達成状況、西播磨地域ビジョン委員会活動の振り返り

ビジョン委員等を対象としたアンケートから地域の新たな課題等を記述

- ・地域の課題、西播磨の地域像

(2) ビジョンの基本姿勢の見直し

「～光と水と緑でつなく - 元気・西播磨～」

(3) ビジョンの夢・目標像の見直し

第1の夢 人の輪社会

第2の夢 安心安全社会

第3の夢 環境王国

第4の夢 きらきら西播磨



(4) 新たな地域像を実現するための重点プログラム

西播磨重点アクション項目の設定

シンボルプロジェクト

「つながるひろがる『出る杭』西播磨元気プロジェクト」

5.【第2部】ワークショップ(要旨)

改訂版「西播磨地域ビジョン」中間案の目標像にある4つのテーマに基づき、各テーブルでワークショップを行い第3部全体討論でテーマ毎に意見交換を行う。参加者は討論ポイントに沿った意見を自由にフセンに記入し、グループの意見が出そろった時点で解決策や行動案を討議する。

ワークショップテーマ	テーブルNo
人の輪社会「ふれあいを大切に豊かな人間関係をつくろう」	1、2、3
安心安全社会「住みなれた地域で支え合ってともに生きよう」	4、5、6
環境王国「人と自然が共生する美しい西播磨を目指そう」	7、8、9
きらきら西播磨「にぎわいと交流の元気な地域をつくろう」	10、11、12

西播磨地域夢会議各テーブル意見～抜粋・要約～

意見総数 402件

テーブル 番号	テーマ	意見
1 2 3	ふれあいを大切に 豊かな人間関係をつくろう (人の輪社会)	<ul style="list-style-type: none"> ・世代交流ができる場所・機会づくり ・地域のイベントを増やす ・保育園を増やし女性が働きやすい環境をつくる ・地域の文化を生かし西播磨を活きた町にする ・地域で活動する団体のネットワーク化 ・親子の絆を大切に楽しい明るい家庭を ・子どもが安全に遊べる場所をつくる
4 5 6	住みなれた地域で 支え合ってともに生きよう (安心安全社会)	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時にいち早く情報発信してほしい ・子どもを守る良いシステム作り ・一人暮らしの老人の把握 ・バリアフリーの充実で住みよい街づくりをめざそう ・救急医療センターなどの充実 ・高齢者と若者がもっとふれあえる社会 ・隣保で話し合う時間を作る ・安全パトロール隊の編成
7 8 9	人と自然が共生する 美しい西播磨をめざそう (環境王国)	<ul style="list-style-type: none"> ・有機作物を奨励し地産地消を促進 ・間伐材の処理等整理された自然に強い森にする ・資源ごみはリサイクル・分別収集 ・ゴミをださない商品づくり運動を ・夏休み等を利用して子どもが自然と関わる(遊ぶ)機会を作る ・街路樹等を植える事で緑あふれる西播磨をめざす ・毎月特定の日を決めクリーンデーとして活動
10 11 12	にぎわいと交流の 元気な地域をつくろう (きらきら西播磨)	<ul style="list-style-type: none"> ・西播磨内での文化的交流(芸術・文化・天文等) ・県境を越えて交流の輪をひろげていく ・青少年の行動に関心を持つ ・各市町共通のイベント情報局の設置 ・播磨科学公園都市の空地の有効利用(ショッピングモール・企業・遊園地等) ・定住人口を増やす 若い人が定着する地域に ・播磨科学公園都市のマスコットキャラクターをつくって地域のPRをする

6.【第3部】全体討論

今回は、西播磨の将来を担うであろう、地元太子高校をはじめ、龍野高校、龍野北高校、県立大附属高校の皆さんにご参加いただきました。

第3部全体討論では第2部で検討いただいたテーマ毎に高校生の皆さんから発表してもらい、他テーブルとの意見交換や専門委員からご意見を伺いました。

(1) 人の輪社会「ふれあいを大切に豊かな人間関係をつくろう」の発表要旨

【発表者：太子高校】

太子高校は人の輪社会のテーマで話し合った結果、地域の人々の交流の場を増やすことが大切だということになりました。

ボランティアやスポーツなどを通して高齢者と子どもが交流する機会を増やすだけでなく、老人ホームや幼稚園を増やしたり、車の危険のない歩行者道路や外灯を増やすことで全ての人が住みやすい街を作ることになり、交流の場を増やすことにつながると思います。

また、カキやそうめんなどを地域の特産物として取り上げることで地域を活性化し、さらに観光地として発展させるために駅を増やしたりコミュニティーバスを作ることが必要だと考えました。その結果、地域の人たちだけでなく他の地域の方とも交流が生まれ、つねに笑顔の絶えない西播磨の実現を目指します。



【会場意見1】

高校生の皆さんの発表は、まちの施設やバスなど建物のことがメインであったかなと感じました。

私のテーブルでは、施設に加えてイベントを作っていかなければならないと考えました。建物やバスだけあっても使っていなければ意味がないので、あなた方に次の世代である小学校の子どもたちを引き込むような魅力あるイベントや内容を考えていただければと思います。

高校生の皆さんが学校では勉強できないことや経験できないことを吸収する、あるいは学べるようなイベントを考えたら値打ちもあるのではないかと思います。

【会場意見2】

老人ホームの話がでましたのでお話をさせていただきます。私は夫と認知症のおばあちゃんと暮らしていますが、元気な時は老人ホームに入りますといていたおばあちゃんが、今は「何で出ていかなアカンのや」というふうに言って、やっぱりお年寄りには家族と一緒に住みたいというのが本音のようです。

そういう家族と一緒に住みたいというのがお年寄りの望みだということを実際に感じていますので、心の片隅においていただけたらと思います。

【田端専門委員（兵庫大学生涯福祉学部教授）】

先ほど各テーブルの結果を見させていただきましたが、1班のテーブルの方は人の輪の「輪」の基盤といたしますか、学校やビジョン委員会といった組織のあり方を中心に議論されていました。2班のテーブルは子どもや高齢者など人の輪の「人」を中心にご検討されていました。3班の高校生の発表は、まさに人の輪のための「仕組み」、例えばボランティアとかイベントなどの「仕組み」をどう作っていくか、もちろん公共の施設も含めての議論がありました。「人の輪」というものを3つのテーブルがそれぞれの見方で検討されたのかなと思います。

太子町と言えば聖徳太子、聖徳太子といえば十七条の憲法、その第1条は「和を持って尊しとなす」まさに和の精神です。人の「輪」は「和」に通じるということでもまさに太子町で議論するにふさわしいテーマだったのかなと思います。

【太子高校意見】

（イベントも必要という意見に対して）例えばスポーツならば高齢者・子どもに関係なく交流できると思うので、簡単なゴルフ大会とか誰でもできて、みんなが楽しめるイベントを作ったらいいのではないかと思います。

（2）安心安全社会「住みなれた地域で支え合ってともに生きよう」の発表要旨

【発表者：龍野北高校】

龍野北高校は安心安全社会をテーマにして考えました。安心安全社会を作るためには「福祉」を中心として「教育」、「環境」、「医療」が関係していると考えました。

福祉は笑顔の絶えない社会を作ったり、地域で子どもたちが安全で過ごせるように活動したり、福祉の施設をたくさん作るという意見がでました。

教育では本とふれあう機会を増やすという意見がでました。環境はきれいな川を増



やしたり、緑を増やすという意見が多かったです。それに加えてロボットで街をいっぱいにしたいと言う意見もでました。医療は医者が訪問して診察したり、病院の数を増やすという意見がでました。この4つがそれぞれ関わりあうことで西播磨の安心安全社会が作られると考えました。

【会場意見3】

龍野北高校の発表はまさにその通りだと思いますが、根本にあるものも考えてみてはどうでしょうか。それは家庭です。家族のふれ合い、あるいはそこでの生活が一番大事じゃないかなと思います。最近100歳以上の人が行方不明になっているニュースがありますが、まずは根本となる家庭生活を考えてみてほしいんじゃないかなと感じました。

【会場意見 4】

家庭を大事にという意見がありましたが、私も同じ思いです。その中でも、朝目が覚めたときの家族との会話、つまり朝の挨拶「おはよう」が一番大事であり、それが安心安全社会の始まりの一步だと思えます。

【谷川専門委員（関西福祉大学社会福祉学部准教授）】

それぞれにすばらしいご意見を伺わせていただきました。家族を考えるという意見がありましたが、家族の中での助け合いが、地域での支え合いにつながっていくということは根本的には家族同士のつながりが大事になってくるというのを再確認できたのではないのでしょうか。

各テーブルを拝見させていただきまして、4班のテーブルではフィッシュボーン(魚の骨)を用い、文化人類学者の川喜田二郎先生の KJ 法をさらに進化させたような形での取りまとめをされているところに感服いたしました。

5班のテーブルでは上の部分に結果、下の部分に影響を及ぼす要因となるものを配置され因果関係を図面化されていることに敬服いたしました。

龍野北高校の皆さんは大人数にもかかわらず、チームワークよく意見をまとめられていました。議論のなかで最初に福祉が出てきて、その次に教育が出てきました。その後に環境や医療が出てきましたが、まず最初に福祉が来て次に教育が来るというのが、私は安心安全社会を考えるうえで本質を突いているなと感心しました。また、発表からだけでは見えてきませんが、高校生の皆さんの討論からは、Love & Peace といえますかほのぼのとした温かいエネルギーをもらいました。

(3) 環境王国「人と自然が共生する美しい西播磨を目指そう」の発表要旨

【発表者：龍野高校】

龍野高校は環境王国というテーマで大きく3つの項目にまとめました。環境というのは西播磨だけでなく世界規模で問題となっているので力を入れて考えました。やはり王国なので王がいるわけですが、この王というのは僕たち1人1人が自覚をもって行動するべきだと思います。

まず、「ゴミゼロ社会」ということでまとめました。分別収集をもっと多くの場所で行う、ごみを出すのではなく再利用するためにフリーマーケットを実施する、生ゴミ処理機を各家庭に1台おく、昔の人の知恵を学んでゴミを出さない生活をする、レジ袋の完全撤廃、飲食店に行くときには割り箸を使うのではなく箸を持参するなどということが大切になってくるのではないかと思います。

次に、中間案(冊子)の中には自然の役割などについて学校で教えようという意見もありましたが、やはり実際に体験してこそ本当に大切に出来ると思うので、「自然と遊ぼう」とまとめました。色んな種類の自然がありますので、「川と遊ぼう」、「緑と遊ぼう」、「虫と遊ぼう」といった分類をし、川で遊ぼうであれば、川の周りに公園を作って遊べるようにするとか、揖保川の水を綺麗にして学校の水泳の授業が川で行えるようにする、川で釣りができるスポットをいっぱい作る、環境の為に川の周りをコンクリートで固めないようにするなどの意見がでました。緑で遊ぼうでは、夏休みなど

の長期休暇を利用して、子どもが自然と遊べるような機会を作っていたらなと思いました。また、緑の量を増やそうということで、街路樹などをもっと植えたら良いのではないかという意見がでました。虫と遊ぼうでは、ホタル、カブトムシ、赤とんぼがいっぱいいたらいいなという意見でした。

最後に「Enjoy! 農業」の項目は、農業を楽しもうということでまとめました。農業と距離を縮めるためにあえてEnjoy という英単語を使っています。例えば朝市などで農産物や水産物を販売・試食することによって地域の人たちが農業に近づけたらなと思いました。また、地域で作ったものを給食で出して、実際に食べることで農業に興味を持ってもらったらいいなと思いました。



【会場意見 5】

今日は若い人たちの貴重な意見を聞かせていただいて嬉しく思っております。私は約半世紀ぐらい船にのっております、世界中いろんな港を見てまいりました。港というのは人の出入りが多く様々な人が集まり生活しますが、発達している港は人間関係もよく、街としても活気があり、もちろん環境整備も進んでいます。

そんなものは100年も先のことだと思われるかもしれないが、意外と近いうちに地球を離れて宇宙基地で働くかもしれない。その時に宇宙に旅立つための港（スペースポート）が必要になりますが、たつの市あたりでもそういった構想が出てきてもいいのではないかと思います。そうなればその港には、世界中の人が勝手に集まり、地域の発展につながります。

これは夢のような話になりますが、それは無理だという反対意見があった場合でも、それを一つ一つ説得できるだけの理論を今の内から勉強して、そういう夢のような構想を持ちながら毎日の生活や勉強に励んでいただければいいのではないかと思います。

【坂本専門委員（兵庫県立大学環境人間学部准教授）】

今日は皆さんの議論を聞かせていただいて、西播磨を良くしたいという思いは老いも若きも皆一緒だということを強く感じました。

高校生の皆さんが、この地域夢会議に参加して地域をよくするためにどうしたらいいかと考える時間を持つということは、皆さんにとっても我々大人にとってもすごく有意義な時間となったと思います。高校生の皆さんが「Enjoy! 農業」という項目や「自然と遊ぼう」ということで、楽しみながらテーマに対する意見を夢として出しておられるのを見てすごく心強く思いました。

7班のテーブルでは森林の整備であったり、有機作物の推奨、地産地消の促進など細かく検討されていました。8班のテーブルでは3つの項目を立てて議論を進められており、山を整備する人手がなくて困っているという現状も聞かせていただきました。

そういった中で高校生の意見を聞いていますと何かのきっかけで好転し、この状況が良い方向に向かう可能性は十分にあるなと感じました。

ほかのテーブルも見せていただきましたが、つくづく思いましたのは人との繋がりの大切さであり、それを大事にしていけば本当に住みやすい西播磨になるということを実感いたしました。

(4) 西播磨きらきら「にぎわいと交流の元気な地域をつくろう」発表要旨

【発表者：県立大附属高校】

兵庫県立大学附属高校は「にぎわいと交流の元気な地域をつくろう」というテーマで、私たち自身に最も関わりの深い播磨科学公園都市について話し合いました。

私たちは「播磨科学公園都市の知名度を上げる」、「(播磨科学公園都市ならではの)制度」、「住宅地周辺の整備」、「土地利用と住宅」、「各種イベントとテーマパーク」、「医療」、「防災」、「ゴミ」、「交通機関」の9つの項目について考えました。

例えば医療については最近播磨科学公園都市に新しくできた先進医療の施設に着目してみました。さらに地域の交流を深めるために播磨科学公園都市で花火大会を開催



したり、温泉を作るなど、イベントやテーマパークの設置がポイントであると考えました。また、そのためにもテクノの交通機関を充実させることが必要であり、例えばバスの本数を増やすといった案がでました。

私たちの考えたこれらの案が西播磨のにぎわいと交流の元気な地域づくりに活かせたらと思います。

【会場意見6】

西播磨地域の活性化ということで発表されたのですが、西播磨地域も過疎化が進んでおり、君たち高校生が卒業し都市の大学に行ってしまうとさらに若者が減ります。

現実として例えば太子町でいえば太子町立の幼稚園、小学校、中学校そして県立の高校にたっぴりと税金が使われています。これから大学に行くとして、卒業したら都市の工場や事務所に勤めることになると思います。そうなると地元ではお金を使ったにもかかわらず過疎化がいよいよ進行してしまいます。

仮に都市に出て行ったとしても地元の事を考えて、ふるさと納税するとか、また帰ってきて農業などの活性化に努めていただきたい。今日、西播磨の活性化について考えた心をいつも忘れないようにしてください。

【依田専門委員(第2期西播磨地域ビジョン委員会委員長)】

きらきら西播磨のテーマの3テーブルを見せていただきましたが、共通して出てきたのがイベント、人と人との繋がりということでした。やはり地域を活性化させるには、人が元気でないと駄目なのかなと感じました。

イベントの関係では、西播磨のイベントが日程的に重なっているということと、これぞというイベントが分からないという議論がされていました。各地でそれぞれ色々なイベントがあるが、イベント情報を一本化するのか、それぞれが絞りこんでイベント開催するのかという議論がでていたのが面白かったと思います。

また、高校生の皆さんが今生活を主にしている播磨科学公園都市を中心に活性化をまとめたという着眼点に感心しました。花火大会や温泉などいろんな意見がどんどんでてきたのが見ても面白かったです。そして、そういう若い人の希望に答えられるように我々50代60代が動いていかなければならないなと感じました。

環境のテーマに戻りますが、環境王国の王様ってというのがいるということで、それは1人1人の人間の意識ではないかという発想はすごいなと思いました。

議論に取り組む高校生4チームそれぞれ、遊び的な感覚で楽しみながら物事に取り組むという意欲がいつか花開くと思いますので、私たちも遊びを考えながら君たちの成長を見守っていききたいと思います。

(5) 総括コメント

【熊谷専門委員（兵庫県立大学環境人間学部教授）】

第2部ワークショップから非常に活発な議論がなされていましたが、特に高校生の発表は参加者の皆さんのプラスになったのではないかと思います。

さて今回は大きなテーマ「光と水と緑でつなぐ - 元気・西播磨」の中にある「人の輪社会」、「安心安全社会」、「環境王国」、「きらきら西播磨」というテーマでお話していただきましたが、専門委員の皆さんにコメントいただいた話をつなげてみますと、いろいろな意味での「わ」というものが、西播磨を特徴づける、また延ばしていくのではないかなと感じました。

この「わ」というのはものすごく便利な言葉です。人の輪の「輪」、つながりの輪。環境の「環」。太子町ゆかりの聖徳太子は和の精神を説かれましたが、「和」というのも人の心に通じる。それから少し違いますが「わっ!」という表現があり、これは元気を表しています。このように西播磨は「わ」でつながっているのではないのでしょうか。

さて、ビジョン委員の方々はビジョンの見直しを去年からやってこられました。平均年齢が少し高いというお話を聞きました。今ここに高校生が入って平均年齢がすごく下がっていますし、3世代そろっているのではないかと思います。3世代でこのような



交流、「輪」を持てるのは、非常に貴重な機会であります。これはビジョンの見直しについてもプラスになったと思いますし、高校生の皆さんにとっても世代が上の方からの意見を聞いたことは有意義であったと思います。

発表を見ていると本当にすばらしい発想がでていましたが、議論された意見のごく一部しか3分と

いう時間では発表できなかったと思います。それぞれのテーブルで出た意見にはユニークなものも多く、これからのビジョン見直しの参考にさせていただきます。

また、高校生の皆さんが20年、30年先のことを考えて発表した経験というのは、非常に貴重です。私自身も含め参加者の中にも30年先を考えた場合にピンとこないと言いますか、関係ないかなと思う部分もあるかと思います。ここで高校生が中心となって議論したことは、自分たちが地域、日本、世界を動かしていく、そういう意識で今後先のことを考えるのに役に立ったのではないかと、思っている次第です。

本日の議論を通して、さらによい西播磨地域ビジョン案を作っていきたいと思っていますのでご協力をよろしくお願いしたいと思います。

【西播磨県民局長 感想】

長時間にわたり議論ご苦労様でした。貴重な時間を元気な西播磨づくりに費やしていただいております。途中でテーブルをずっと回らせていただいたのですが本当にいいアイデアがたくさん出ていました。もっと膨らませてみたいと思うような意見もでていましたし、広角泡を飛ばす勢いで熱弁をふるっている方もいらっしゃいました。中には県民局の職員として耳の痛いこともだいが聞こえてまいりました。

今回の発表を聞かせていただいて高校生の皆さんに参加いただいたのは成功だったと感じております。いただいた意見は今後の運営の参考にさせていただきたいと思います。

常に元気な西播磨づくりのために頭と体を動かしていただきたいと思います。皆様の積極的な行動をよろしく願います。本日はありがとうございました。

7. 地域夢会議を終えて

【閉会挨拶より～抜粋】

本日はお忙しい中、西播磨地域夢会議に多数ご参加いただきましてありがとうございました。お陰様で滞りなく西播磨夢会議を開催でき無事終了となりました。

今回はこの先の西播磨の未来を担っていただく高校生の皆様に参加していただきました。活発な議論を経てしっかりと意見を出していただき、とても頼もしいなと素直に感心させていただきました。

私たち大人の世代も高校生の世代もやはり西播磨をこれから良い地域にしていきたいという思いを皆さん共通して持っていると思いますので、反対の意見が出ることもあると思いますが、前向きに西播磨をより良い地域にしていければと思います。

今後、元気な西播磨の実現に向かって新しい西播磨の地域ビジョンをまとめ、皆様のお手元に届けたいと思いますので、ご協力よろしく願います。本日はありがとうございました。